

具志頭地区大型魚礁調査

具志頭沖大型魚礁調査

1. 設置年度……昭和53年度(竣工 昭和53年12月)

2. 設置個数……1,395個

3. 設置場所……水深 12.8m

a 設置場所……知念岬より真方位180度8,000m

Lat 26°-05'-20"N Long 127°-49'-59"E

b 山立て方法……① 百名の上の岩(162m)と水タンクを結んだ線

② 久高島灯台と南西域のリーフ(普通白波がたつ)右端が一直線

③ 八重瀬岳と具志頭側の白い建物とが一直線

c 山立て図及び写真



① ↑八重瀬岳(その下方に白い建物が見える)



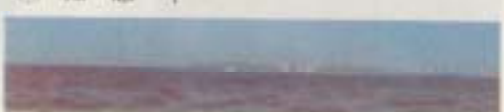
② 百名方面 ↑水タンク(162mの山)



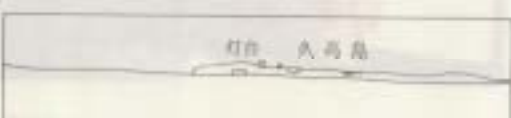
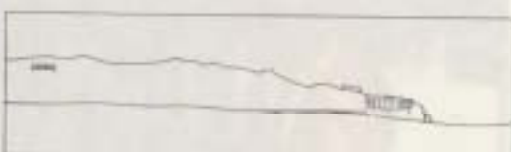
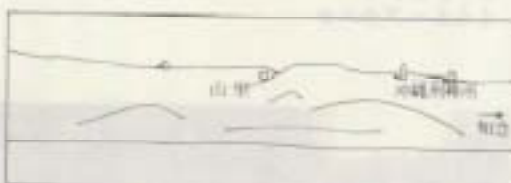
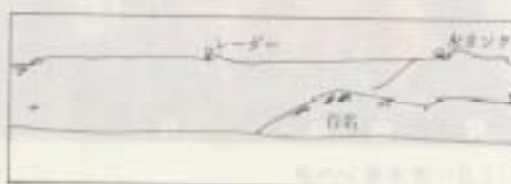
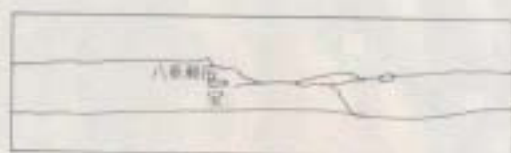
③ 山里から知念にかけて ↑(砂堤製糖所)



④ 知念岬



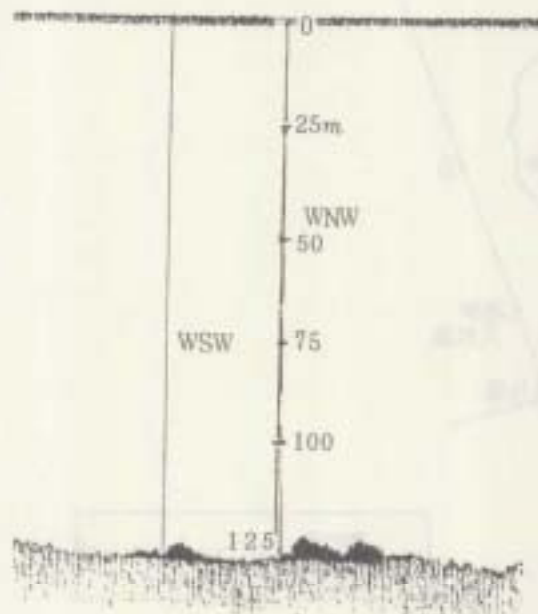
⑤ 久高島





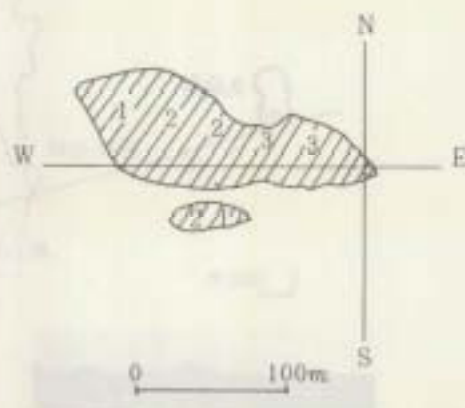
4. 魚罾の設置状況

a 魚罾設置断面 (魚探記録)



b 魚罾配置形態模式

東西に細長く210m、縦高3段積みである。この配置、構造からみて、東西への流況であることがいえる。



5. 魚罾効果確認調査

魚罾設置1ヶ月後の調査では、北の風9m、波設2~3、うねり3~4という悪条件下で1本釣り(サンマを餌に使う)釣針数18号5本付で約4時間操業でシモフリハタ(35cm600g)1尾、2ヶ月後には大体同じ条件下でシモフリハタ(31cm460g)1尾、ホオキハタ(23cm730g)1尾、ムツ(80cm970g)1尾、計3尾、80日後の調査では南西の風8m、波設2~3、うねり3、釣針19号(マナ針)5本付でカンパチ(50cm1700g)1尾、アオチビキ(39cm900g)1尾、オオモンハタ(32cm、36cm、44cm、2000g)3尾、シモフリハタ(29cm400g)1尾、計6尾で漸次増加して来ている。ハタが殆んどで3回の操業で10尾のうち、7尾はハタ(シモフリハタ3尾、オオモンハタ3尾、ホウキハタ1尾)である。